

名 誉 会 員 推 挙

井 上 晋 殿

現 職	大阪工業大学 学長, 工学部都市デザイン工学科特任教授
略 歴	1984年3月 京都大学大学院工学研究科交通土木工学専攻修士課程 修了 1984年4月 京都大学工学部 助手 1994年4月 京都大学工学部 講師 1995年4月 大阪工業大学工学部 助教授 2002年4月 大阪工業大学工学部 教授 2015年11月 大阪工業大学大学院工学研究科長, 工学部長 2021年11月 大阪工業大学学長 現在に至る 2025年4月 大阪工業大学工学部特任教授 現在に至る
本工学会歴	正会員 (1993年12月より現在に至る) 理事 (2011年～現在), 常務理事 (2015年～2016年), 副会長 (2017年～2018年), 会長 (2019年～2020年)。P Cシンポジウム実行委員会委員長, P C工学会賞選考 委員会委員長, コンクリート構造診断士委員会委員長, P C技術規準委員会, P C鋼材委員会 委員を歴任
主な表彰歴	1991年 シンガポールレディーミクストコンクリート協会賞 1995年 日本材料学会学術奨励賞
主な業績	土木学会コンクリート委員会常任委員会委員, 田中賞選考委員会委員, 土木学会 関西支部副支部長, 日本コンクリート工学会近畿支部長, 日本材料学会理事, 編 集委員会委員などを歴任。P C工学会が運営に協力した <i>fib</i> 2002大阪コンgresで, 登録ワーキンググループ主査, <i>fib</i> Deputy, 近畿地方整備局, 大阪府, 阪神高速道 路など関西地区の主要な行政機関が管理するP C構造物コンクリート構造物に 対する技術的な指導, 本工学会の運営発展とP C技術の普及に貢献

手 塚 正 道 殿

現 職	(株)サン環境計画 品質管理部 部長
略 歴	1977年3月 芝浦工業大学 工学部土木工学科 卒業 1977年4月 オリエンタルコンクリート(株) (現オリエンタル白石(株)) 入社 2005年10月 技術研究所 所長 2013年7月 執行役員 本社 施工・技術本部 技師長 2014年7月 常務執行役員 同上 2014年7月 東京都市大学総合研究所 特任教授(～2017. 03) 2018年4月 顧問 2021年9月 (株)サン環境計画 品質管理部部長 現在に至る
本工学会歴	正会員 (1981年3月より現在に至る) 理事 (2011年～2018年), 副会長 (2015年～2016年), P C技術規準委員会, P C グラウト規準作成委員会, P Cグラウト設計施工指針改定委員会, P Cサステナ ビリティ委員会委員長, P Cアーカイブス委員会委員長を歴任
主な表彰歴	2011年 日本コンクリート工学会賞功労賞 2014年 プレストレストコンクリート工学会論文賞 2023年 土木学会田中賞業績部門
主な業績	P C定着工法の開発, FRPのP C構造物への適用に関する研究開発, P Cグラ ウト設計施工指針の発刊・改訂, P Cサステナビリティ宣言の草案, P Cアーカ イブスの確立, 土木学会コンクリート委員会常任委員を歴任, コンクリート標準 示方書の改訂, 本工学会の運営発展とP C技術の普及に貢献

西 垣 義 彦 殿

現職	(株)杉山設計事務所 顧問, (株)テクニコ 技師長
略歴	1978年3月 岐阜大学工学部土木工学科 卒業 1978年4月 ピー・エス・コンクリート(株)(現ピーエス・コンストラクション(株))入社 2006年12月 本社技術本部 技術推進部長 2007年4月 本社技術本部 土木技術部長 2010年4月 本社技術本部 副本部長兼技術研究所長 2015年7月 理事 2014年5月 (公社)プレストレストコンクリート工学会 専務理事・事務局長 2023年6月 (株)ピーエス三菱 退社
本工学会歴	正会員 (1978年4月より現在に至る) 専務理事・事務局長 (2014年～2022年), PCシンポジウム実行委員会委員, 東日本大震災PC構造物災害調査委員会幹事長, PCアーカイブス委員会幹事長, 同幹事 (2023年～現在) を歴任
主な表彰歴	2003年 プレストレストコンクリート技術協会 論文賞 2014年 (一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会 功労賞
主な業績	日本道路公団第二名神栗東橋1/2モデル載荷試験業務責任者, 土木学会コンクリート委員会常任委員, 日本道路協会橋梁委員会委員, (一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会中部支部, 東北支部, 本部技術部会長およびPC床版対策委員会幹事長を歴任, RCループ継手を有する鋼少数主桁橋プレキャストPC床版の設計施工の確立と普及に貢献, 本工学会の運営発展とPC技術の普及に貢献

森 拓 也 殿

現職	ピーエス・コンストラクション(株) 取締役会長
略歴	1979年3月 京都大学工学部交通土木工学科 卒業 1979年4月 ピー・エス・コンクリート(株)(現ピーエス・コンストラクション(株))入社 2003年9月 本社技術本部 土木技術第一部長 2007年4月 執行役員 名古屋支店長 2010年6月 取締役執行役員 技術本部長 2016年6月 代表取締役 副社長執行役員 2020年4月 代表取締役 社長執行役員 2026年4月 取締役会長 現在に至る
本工学会歴	正会員 (1985年9月より現在に至る) 理事 (2010年～2019年), 副会長 (2011年～2012年), PC技士委員会講習会小委員会委員長, PC技術規準委員会, PCサステナビリティ委員会, 東日本大震災PC構造物災害調査委員会 委員を歴任
主な表彰歴	1998年 プレストレストコンクリート技術協会 論文賞 2025年 建設事業関係功労表彰 (国土交通大臣表彰)
主な業績	瀬戸大橋櫃石島高架橋 (1987年PC技術協会賞), 第二名神高速道路近江大鳥橋 (2006年土木学会田中賞), コロラドリバーブリッジ (2010年土木学会田中賞, 2012年米国土木学会賞), プレキャストパネルと横拘束筋としてPC鋼材を用いた橋脚の耐震補強工法開発, PC構造の耐震性に関する研究とPC技術を用いた耐震補強工法の開発に貢献, 波形鋼板ウェブ合成構造研究会会長, (一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会会長 (2022年～2023年), 副会長 (2020年～2021年, 2024年～2025年), 本工学会の運営発展とPC技術の普及に貢献 (五十音順)